

日本ユニシスグループ

UNISYS

CSRレポート 2016

分野別 2015年度 パフォーマンス報告

コミュニティへの 参画 及び コミュニティの 発展

(社会貢献活動)



Foresight in sight

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展（社会貢献活動）

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	1
社会貢献活動方針・制度	1
社会貢献活動方針	1
活動の評価	1
社会貢献活動休暇・休職制度	1
NPO・NGO との協働	2
NPO・NGO と社員との意見交換・合同プログラム	2
イベントを通じた交流	2
2015 年度活動一覧	4
地域との連携	5
地域ネットワークへの参加	5
地域のクリーン活動	5
地域イベントへの協力	5
販売会の実施	6
コミュニティとのかかわり	7
社員による自発的な社会貢献活動	7
ヴァイオリニスト川島成道氏とのパートナーシップによる活動	7
日本ユニシス実業団バドミントン部	9
被災地支援	9
教育貢献	10
e-ネットキャラバンへの社員派遣	10
海外インターンシップへの協力	10
社会貢献パフォーマンスデータ	11

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

日本ユニシスグループは、企業理念に則り、すべての人たちとともに人と環境にやさしい社会づくりに貢献します。

社会貢献活動方針・制度

社会貢献活動方針

1. ICT サービスを通じて人と環境にやさしい社会づくりに貢献します
2. 社会の期待と要請に対する感性を磨く人材育成の一環として、社員によるボランティア活動などの自発的な社会参加を支援します
3. ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、コミュニティに参画し、コミュニティの発展に寄与します

活動の評価

「社会の視点」と「日本ユニシスグループの視点」から活動を評価するとともに、地域コミュニティや寄付先、活動パートナーと積極的に意見交換を行い、今後の取り組みに活かしていきます。

社会貢献活動休暇・休職制度

社会貢献活動休暇	連続または分割して月に5日、年に12日以内
社会貢献活動休職	原則1か月以上2年以内

NPO・NGO との協働

NPO・NGO などの団体とは、社員との直接対話する機会や、イベントを通じた交流の機会を通じて、さまざまな関わりを持ち、協働しています。

NPO・NGO と社員との意見交換・合同プログラム

日本ユニシスグループ社会貢献クラブ「ユニハート」の寄付先団体の方と社員が直接対話する会を定期的を開催しています。

目の不自由な方の ICT 利用に関する体験講座を実施

2015 年 6 月に、日本ユニシスグループの新入社員を対象に、目の不自由な方が ICT を利用して、どのように情報を得ているかを体験する講座を実施しました。講座では、NPO 法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク(SPAN)※ 理事長 北神様より、視覚障がい基礎知識および、音声によるパソコン・携帯電話・スマートフォン等の操作に関してデモを交えて説明を受けました。講座の中では、二人一組のペアになって、アイマスクをしている仲間を誘導する体験や、アイマスクをしたままパソコンから自分の名前を入力する体験も行いました。



アイマスクをつけて歩行体験



アイマスクをつけてパソコンで文字を入力

※視覚障害者パソコンアシストネットワーク(SPAN)：視覚障がい者がもっと生き生きと、活躍できる社会を目指して、パソコンや情報通信技術の利用促進を通して、視覚障がい者の未来を切り拓く活動をしている NPO。日本ユニシスグループ社会貢献クラブ「ユニハート」の 2015 年度寄付先。

イベントを通じた交流

年間を通じて実施するイベントで、様々な団体と関わりを持ち、協働しています。

1. 盲導犬イベント

日本盲導犬協会および盲導犬総合支援センターに協力いただき、毎年、盲導犬ふれあい教室および盲導犬チャリティグッズ販売会を実施しています。盲導犬や盲導犬の育成について、また、街で視覚障がい者の方や盲導犬に出会ったときにできることなどを学ぶ機会となっています。



盲導犬との歩行体験

2. ステナイ生活キャンペーン

全国のグループ社員の協力で読み終わった本や書き損じハガキなどを集め、社内向けのチャリティ販売会や換金による収益をシャプラニール＝市民による海外協力の会に寄付、国際協力や震災復興支援に役立てる「ステナイ生活キャンペーン」を毎年実施しています。チャリティ販売会では、フェアトレード商品の販売や、寄付先の紹介なども実施。交流と気づきの場となっています。



販売会風景

2015 年度活動一覧

日付	内容	開催場所	団体	備考
2015年6月	目の不自由な方のICT利用に関する体験講座	東京エデュケーションセンター	視覚障害者パソコンアシストネットワーク (SPAN)	寄付先連携
2015年9月	チャリティ社内販売会	本社	シャプラニール=市民による海外協力の会、のびのび作業所フーズ、ワークセンターつばさ、第三あすなる作業所	地域貢献、国際貢献、東日本大震災復興支援、寄付先連携
2015年9月～10月	台風18号に伴う大雨災害 支援募金	全国		台風18号に伴う大雨災害 被災地支援
2015年11月	盲導犬ふれあい教室&盲導犬チャリティグッズ販売会	本社	日本盲導犬協会、盲導犬総合支援センター	寄付先連携
2015年12月	チャリティコンサートで盲導犬チャリティグッズを販売 チャリティコンサートを訓練犬の訓練の場として提供	豊洲シビックセンターホール	日本盲導犬協会、盲導犬総合支援センター	寄付先連携
2015年12月～2016年3月	古本等の収集 チャリティキャンペーン チャリティ社内販売会	全国	シャプラニール=市民による海外協力の会、江東区障害者福祉センター、おあしす福祉会	国際貢献、地域貢献、寄付先連携
2015年12月	チャリティ社内販売会	北海道支店	札幌市手をつなぐ育成会	地域貢献、寄付先連携
2016年2月	チャリティ社内販売会	本社	のびのび作業所フーズ、ワークセンターつばさ、第三あすなる作業所	地域貢献
2016年3月	盲導犬チャリティグッズ販売会	中部支社	盲導犬総合支援センター	寄付先連携

地域との連携

地域ネットワークへの参加

江東区に事業所がある企業・大学などが集まる、「江東区社会貢献ネットワーク」（こらぼら）に参加し、「江東区における社会貢献活動の活性化」をテーマに活動を行っています。定例会での情報交換を行う他、地域の合同清掃、江東区民まつりなどの区内イベントに合同で参加しています。

地域のクリーン活動

社員有志の「豊洲キレイにし隊！」が、昼休みを利用して定期的に清掃活動を行っています。

近年はその輪が広がり、豊洲地区の企業・団体のみなさまとの一斉共同清掃に発展しています。また中部支社での堀川清掃など、支社支店でもさまざまなクリーンアップ活動を行っています。



本社周辺のクリーンアップ活動

地域イベントへの協力

豊洲フェスタは、公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団が、豊洲地域の企業や団体と地域の方々との交流のために毎年秋に開催しているイベントで、当社グループは、2005 年度から毎年「すべての人たちとともに人と環境にやさしい社会への貢献」をテーマにしたブースを設置しています。

2015 年の豊洲フェスタでは、バドミントンのトップアスリートに挑戦できるバーチャル・バドミントンゲーム、手ぶらで空中操作を楽しみながら情報を得ることのできる魔法の鏡のようなミラーサイネージ、手を触れずに描くことのできる空間書道などを出展。2 日間で、お子様を中心にのべ 1000 名の方々にアトラクションを体験いただきました。



バーチャル・バドミントンゲームでトップアスリートと対戦

販売会の実施

江東区内の障がい者通所施設で作られた製品の販売会を定期的に行っています。
販売は、施設利用者の方々とボランティア社員が合同で行い、交流の場ともなっています。



販売会風景

コミュニティとのかかわり

社員による自発的な社会貢献活動

● 社会貢献クラブ「ユニハート」

「ユニハート」は、社員の自発的な社会貢献活動の推進を奨励し、社会に貢献することを目的に 2006 年に設立しました。会員は 976 名（2016 年 3 月末日現在）。会員自らが企画・運営を行うチャリティイベントや、NPO への寄付など幅広く活動しています。

ユニハート寄付先 (2015 年度)

- ◇ 一般財団法人 マルチメディア振興センター(e-ネットキャラバン)
- ◇ 一般社団法人 江東ウイズ
- ◇ 一般社団法人 札幌市手をつなぐ育成会
- ◇ NPO 法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク(SPAN)
- ◇ バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ
- ◇ NPO 法人 シネマアクセスパートナーズ
- ◇ 認定 NPO 法人 シャプラニール=市民による海外協力の会(子どもの夢基金)
- ◇ 社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会(たましろの郷)
- ◇ 認定 NPO 法人 東京盲ろう者友の会
- ◇ 公益財団法人 日本盲導犬協会
- ◇ 認定 NPO 法人 ピープルズ・ホープ・ジャパン
- ◇ 認定 NPO 法人 ファミリーハウス
- ◇ NPO 法人 福岡中失難聴者支援福祉協会
- ◇ 認定 NPO 法人 ブリッジフォースマイル
- ◇ NPO 法人 わんぱくクラブ育成会

ヴァイオリニスト川島成道氏とのパートナーシップによる活動

当社グループは川島成道氏のオフィシャルパートナーとして、公演を支援するほか、川島氏のオフィシャルサイトの運営サポート、社員によるボランティア活動を行っています。

川島氏は、英国と日本を拠点に、国内外でソリストとして精力的な活動を展開しているヴァイオリニストです。

デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行い、高校の現代文の教科書に文章が使用されるなど、社会派アーティストとして多方面に影響を与えています。

当社グループは、川島氏の医療・福祉・教育分野における活動に共感し、1998 年のデビュー時から応援し続けています。

本活動は、従来のメセナ（文化・芸術支援）に加え、「コミュニティへの参画およびコミュニティの発展」に寄与する活動として、また、コンサートでの社員ボランティア活動は当社の企業理念に掲げる「社員の社会の期待と要請に対する感性を磨く」ための人材

育成の一環として捉えています。

- ニューイヤーコンサートにおけるボランティア活動

川畠氏のニューイヤーコンサートにおいては、視覚障がいのある方々をご招待し、ホール内外では当社グループ社員が誘導のサポートを行っています。これまでのご招待者は約 1700 名、ボランティアとして参加した社員はのべ 350 名を超えました。本活動は、ひとりでも多くの方々が素晴らしい音楽に触れ、感動と安らぎを覚えることができればという思いから行っている社会貢献活動ですが、ボランティアとして参加した社員にとっても、自らが社会の一員であることを意識し多くのことを学ぶ貴重な機会になっています。

- “新しい視点”の社会貢献活動

2015 年度からは、当社グループの新しいコーポレートステートメント‘Foresight in sight®’のコンセプトである“既成概念にとらわれない先見性と洞察力”を意識し、川畠さんとともに新しい試みを展開しています。

2015 年 12 月には、これまで本社で開催していた川畠さんによるチャリティコンサートを、オープンしたばかりの豊洲シビックセンターホールで開催しました。これによって、さらに地域の方々が参加しやすいコンサートとなり、社員とその家族に加え、多くの豊洲住民の方々にもご来場いただきました。会場では、視覚障がい者の社会参加を支援するための募金を呼びかけ、集まった募金 12 万 5,210 円を公益財団法人日本盲導犬協会に寄付しました。また、同協会の訓練犬がコンサート会場に慣れるための訓練の場として提供しました。

2016 年 1 月に開催した「日本ユニシス・プレゼンツ川畠成道ニューイヤーコンサート」では、例年の点字パンフレット、大きな文字のパンフレットに加え、“音声で聞くことができるパンフレット”を用意しました。これは、お手持ちの携帯電話などから QR コードを読み込むとパンフレット内容を文字データで掲載している専用サイトにアクセスでき、携帯電話などの音声読み上げ機能を使ってパンフレット内容を聞くことができるというもの。使用した方からは「演奏曲目を自分で調べることができました」「よりバリアフリーになって喜んでいきます」と嬉しい感想をいただきました。



音声パンフレットを聞く来場者



参加した訓練犬と公益財団法人日本盲導犬協会の皆様

[川畠 成道オフィシャルサイト >](http://www.kawabatanarimichi.jp/)

<http://www.kawabatanarimichi.jp/>

日本ユニシス実業団バドミントン部

日本ユニシス実業団バドミントン部は、世界ランキング 1 位（※）の女子ダブルス高橋礼華・松友美佐紀をはじめとする日本を代表する選手が所属する男女チームです。

2000 年シドニーオリンピックから 5 大会連続で日本代表選手を輩出し、国内では実業団チーム対抗リーグ戦である日本リーグ 2015 で 3 度目の男女同時優勝を果たしました。

また、本社の所在する東京都江東区内の小学・中学・高校生をはじめとする多くの子どもたちを対象にバドミントン講習会を開催し、バドミンの楽しさを積極的に伝えるとともに、スポーツを通じた青少年の健全な育成に寄与していきたいと考えています。

2014 年 8 月には、東日本大震災復興支援の一環として、岩手県上閉伊郡大槌町で子どもたち向けのバドミントン講習会を実施しました。

※2016 年 6 月 16 日現在

[日本ユニシス実業団バドミントン部サイト >](http://www.unisys.co.jp/badminton/)

<http://www.unisys.co.jp/badminton/>

スポーツ振興に貢献するとともに青少年の健全な育成に寄与しています。

被災地支援

● 東日本大震災復興支援活動

2012 年 4 月から 2015 年 9 月まで、2 名の技術者を岩手県上閉伊郡の大槌町役場に派遣し、ICT による町の復興支援業務のお手伝いを致しました。

日本ユニシス実業団バドミントン部は、2014 年 8 月に大槌町で次世代育成支援の一環として、子どもたち向けのバドミントン講習会を実施しました。

日本ユニシスグループ社会貢献クラブ「ユニハート」は、2011 年度から継続して東日本大震災復興支援活動を行なっている団体に寄付を実施するほか、社内でチャリティ販売会等を実施しています。

● 過去の活動実績：[東日本大震災への対応（2011～2013 年度）>](http://www.unisys.co.jp/csr/governance/bcp/bcp.html)

<http://www.unisys.co.jp/csr/governance/bcp/bcp.html>

● 2015 年台風 18 号による災害に関する支援活動

被害を受けた方々を支援するために、社内募金活動を実施し、グループ社員から集まった 191,309 円を社会福祉法人中央共同募金会に寄付しました。

教育貢献

e-ネットキャラバンへの社員派遣

「e-ネットキャラバン」は、子どもたちが携帯電話やスマートフォン、インターネットを安全に利用できるように、子ども・保護者・教職員を対象とした啓発活動です。

一般社団法人マルチメディア振興センターが運営、総務省・文部科学省支援のもと、情報通信分野などの多くの企業・団体が協力して、全国で「e-ネット安心講座」を実施しています。

当社グループは、「e-ネットキャラバン」の活動趣旨に賛同、2006年4月の設立当初から参加し、講師認定講習会を受講したグループ社員を講師として派遣しています。

2015年度は、全国8ヶ所で「e-ネット安心講座」を実施しました。



「e-ネット安心講座」の様子

宮城県亘理郡山元町では、日本ユニシスグループの社員とOBが数回にわたり「e-ネット安心講座」を実施しています。

日本ユニシスグループでは、震災直後より、子どもたちへの児童図書への支援、山元町で作られた製品の当社での販売会の実施、社員の現地訪問など、継続して交流を行っています。

海外インターンシップへの協力

独立行政法人 国立高等専門学校機構が主催する、海外インターンシップに協力、2013年から高等専門学校生をUSOL ベトナム（有）で受け入れ、3週間にわたる就業体験プログラムをサポートしています。

海外インターンシップとは

国立高等専門学校機構では、国際的に活躍できる実践的技術者養成を目的とした「海外インターンシッププログラム」を2008年度から行っています。

このプログラムは、企業との共同教育の一環として、学生が国際的に展開する企業の現場を直接見て実際に業務を体験することにより、異文化理解やコミュニケーション能力などの国際感覚を養うことを目的としています。

社会貢献パフォーマンスデータ

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
社会貢献活動支出額	44百万円	43百万円	44百万円	31百万円
社員による寄付総額	4,516,346円	4,329,223円	4,927,856円	4,401,251円
社会貢献活動休暇取得者数	4名	5名	4名	7名
社員の社会貢献活動参加人数 [※]	562名	565名	581名	457名

※物品購入・物品寄付・展示会への立ち寄りなどの参加数は含まない

集計範囲：連結グループ、および非連結子会社